

活動資料 山一17		トビーの森の探検隊(TMT)			
時期	年 間	時間	半 日	人数	4～5人1班で20班まで可能
概 要					
<p>古くから漁師さんたちは、森を大切にしてきました。すぐにはわかりませんが、若狭湾の豊かな海を支えているのは、背面にそびえる森の木々です。このプログラムは、子どもたちが森の中での活動を通して、森と海との関わりを体験から感じられるように考えられています。</p>					
ね ら い					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 森の中の様子や森のすばらしさについて、五感を使って感じる。 ・ 観る、聴く、触わるなどの体験を通して、森の木々について理解を深める。 ・ 森と海との関係について自分たちが見つけたことや感じたことを話し合いながら、理解を深め合う。 ・ チェックポイントを回りながら、班の友達と協力してやりとげる。 					
準 備					
自然の家で貸し出すもの【数・場所】			団体（個人）で用意するもの		
携帯無線機【事務室】 ガイドブック(透明ファイルに閉じてある物) 解答用紙（バインダーに閉じて使用） トビーの森の探検隊地図（パウチしてある物） 聴診器・メジャー・温度計・バインダー【事務室】 ※バインダーのポケットに必要な道具が入っています。			鉛筆（学校で使われている物） 野外活動のできる服装 (帽子・白っぽい服・長袖・長ズボン・靴) 軍手 ※ スズメバチや害虫などがいますので、長袖・長ズボンで行ってください。 ※ 雨天時は、ファイル内の資料が濡れないように配慮してください。		
留 意 事 項					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 野外では、外靴にはきかえて活動してください。 2. 1グループ4～5人が望ましいですが、それ以上でも可能です。 3. 他のグループと活動が重ならないように工夫してスタートさせてください。もしも他のグループと同じポイントで出会ったときのことを考えて、事前に決めておいてください。 4. 下で誰かが活動していることもあるので、石を投げたり転がしたりしないように指導しておいてください。 5. 鉛筆等必要な消耗品は、持参してきてください。 6. 安全上、服装は必ず長袖・長ズボンで行ってください。帽子もかぶってください。また、黒っぽい服や帽子はスズメバチに狙われやすいですので、白っぽい服が望ましいです。 7. 荒天時でも小雨程度なら活動可能ですが、ファイル内の資料は、防水されていませんので、できるだけ雨に濡れないように配慮してください。 8. 温度計を使うときには、壊れていないかを確認し、安全に気をつけて使用してください。使うときには、壊さないように使わせてください。<u>破損時は弁償してもらってもあります。</u> 9. 貸し出した物（バインダー・巻き尺・温度計・聴診器・地図・ガイドブックファイル）は、破損していないかを確認して、必ず事務室に返却してください。次に使われる団体のためにいい加減に扱わないように指導しておいてください。 10. 荒天時ハイキングコース等が使えない場合、活動を変更していただくことがあります。 11. <u>利用団体で指導と監視の体制を組んでください。職員による直接指導はありません。</u> 12. <u>指導、連絡用に携帯無線機を使用してください。他団体との調整で、希望台数をお貸しできない場合がありますので、あらかじめご了承ください。</u> 13. <u>緊急事態が起きた場合は、速やかに事務室まで連絡してください。</u> 					

トビーの森の探検隊(TMT)

(準備物)

貸し出し

団体(個人)

ガイドブック(透明ファイルにとじてある物) 解答用紙(バインダーにとじて使用) トビーの森の探検隊地図(パウチしてある物) 聴診器・メジャー・温度計【事務室】 バインダー【事務室】 ※バインダーのポケットに必要な道具が入っています。	鉛筆(学校で使われている物) 野外活動のできる服装 (帽子・白っぽい服・長袖・長ズボン・靴) 軍手 ※ スズメバチや害虫などがいますので、長袖・長ズボンで行ってください。 ※ 雨天時は、ファイル内の資料が濡れないように配慮してください。
---	---

1. いこいの広場または、つどいの広場に集合して、事前指導をする。留意事項にある事柄(特に3～9番まで)を指導する。各ポイントでは、ガイドブックに従って活動する。
2. ポイント①出発前に海と森の様子を目・耳・鼻等を使って観察する。
3. ポイント②名札のかかっている4つの木を触って観察する。※別解答あり
4. ポイント③メジャーを使って木の幹の太さを測る。(できれば切り株を見つけて年輪を観察する。)
※問題1・別解答あり
5. ポイント④聴診器を使って木の幹の音を聞く。(1つだけでなく、いろいろな木の音を聞くのもよい。)
※問題2
6. ポイント⑤木の実や動物の糞を探して、観察してみる。(動物の糞は、直接触らないようにする。)
7. ポイント⑥根元から幹がたくさん別れて出ている木を見つけて観察する。※問題3
8. ポイント⑦地面から真上まで植物の社会をじっくりと観察する。
9. ポイント⑧杉林の様子を観察する。
10. ポイント⑨温度計を使って谷川の水の温度を測ってみる。※問題4. 5
11. ポイント⑩落ち葉を8回めくって、落ち葉の下の様子はどうなっているのか観察する。
12. ポイント⑪温度計を使って河口付近の谷川の水温を測ってみる。ポイント⑨との違いを班で話し合ってみる。※問題6
13. ポイント⑫浜辺に流れ着いたものを観察する。その中でも種子に注目して考える。※問題7
14. 「森と海とのかかわり」の図や自分たちが森の中で見てきた様子から班ごとに話し合いの時間を持って、海と森の関係についてまとめる時間を持つとより理解が深まる。
15. 使った道具やファイル・バインダー等が紛失したり、壊れたりしていないかを確認して事務室へ返却する。